

441	年貢 <small>ねんぐ</small> の納め時 <small>おさどき</small>	長く悪い行いを続けていた者が捕まり罪に服さねがならない時。物事に見切りをつけ、あきらめるべき時。
442	熨斗 <small>のし</small> を付ける	自分には不要なものを物を喜んで差し上げる。厄介払いをする。
443	喉 <small>のど</small> から手が出る	欲しくてたまらないことの例え。
444	乗りかかった船 <small>ふね</small>	一度関わってしまった以上、途中で投げ出すわけにはいかない。
445	歯 <small>は</small> が浮く	口先だけの軽々しい言葉を不快に感じる。
446	歯 <small>は</small> が立たない	自分の力をはるかに超えるほど強大で、まるで対抗することができない。
447	拍 <small>はく</small> が付く	値打ちや評価が高くなる。貫禄が付く。
448	白紙 <small>はくし</small> に戻す	これまでの事をなかったものとして元に戻す。
449	拍車 <small>はくしゃ</small> を掛ける	物事の進行をいつそうはやめる。
450	薄氷 <small>はくひょう</small> を踏む	危険な状況にひやひやしながら臨む。
451	箸 <small>はし</small> にも棒 <small>ぼう</small> にも掛からない	あまりにひどく、どうしようもない。何の取り柄もない。
452	蜂 <small>はち</small> の巣 <small>す</small> をつついたよう	大きな騒ぎとなり手が付けられない様子。
453	八方塞がり	どの方向に進んでも不利な状況で手の打ちようがない。
454	鼻息 <small>はないき</small> が荒い	意気込みが激しく、強気で威勢が良い。
455	話 <small>はなし</small> に花 <small>はな</small> が咲く	興味のある話題がたくさんあって、会話がはずむ。
456	鼻 <small>はな</small> であしらう	相手の言葉に取り合わず、ばかにして冷たい対応をする。
457	鼻 <small>はな</small> に掛ける	得意がり自慢する。
458	鼻 <small>はな</small> に付く	飽きて嫌になる。相手の言動をうっとおしく感じる。
459	鼻持 <small>はなもち</small> ちならない	嫌味のある言動や様子が不愉快で我慢ならない。
460	鼻 <small>はな</small> を明 <small>あ</small> かす	相手を出し抜きあつと言わせる。